



宇久中学校だより 海原

令和8年3月17日(火)
第23号
佐世保市立宇久中学校
校長 永山 幹人



宇久中学校HPは
上の二次元バーコードから

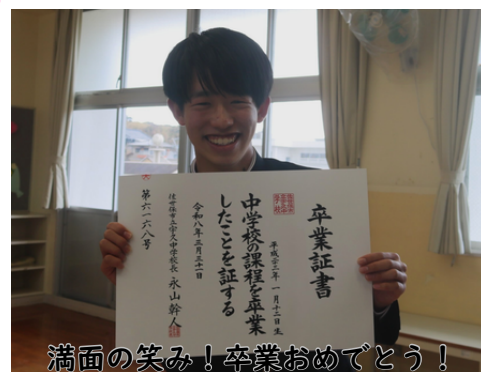


宇久中学校への
ご意見等はこちらから

ふるさとを愛し 主体的に学習し自らの判断で正しく行動できる生徒の育成

「行ってらっしゃい、先輩！」 島中が応援団、笑顔と感謝の卒業式。

3月13日(金)、第79回卒業証書授与式を行いました。前日の夜は激しい雨風でどうなることかと心配していましたが、明け方には雨もやみ、風もおさまってきました。きっと卒業生の日ごろの行いが良いからでしょう！
当日の様子をお届けします。



満面の笑み！卒業おめでとう！

「義務教育の課程を修了」 卒業証書授与

音楽と在校生の大きな拍手に迎えられ、卒業生が式場に入場してきました。初めに、校長先生から卒業生に、卒業証書が手渡されました。3年間の学びの証です。ずっしりと重みを感じました。



音楽と拍手とともに入場！



卒業証書は3年間の重み！

若竹のごとくあれ！ 校長式辞

次に、校長から卒業生に向けて式辞が述べられました。今年度の卒業生は〇〇〇君一人！〇〇〇君に向けて書かれた手紙を読んでいるような、そんな式辞になりました。式辞の内容を簡単にお知らせします。



涙を我慢しながら話しています

本校たった一人の卒業生、〇〇〇君。ご卒業おめでとうございます。

私が赴任して最初に目にしたのは、生徒会長である君が掲げた「あいの学校（あかるく、いきいき、のびのびと）」というスローガンでした。君はその言葉通り、全校生徒十三人を優しく引っ張り、学校を見事に創り上げてくれました。運動会でのダンスや伝統のなぎなた踊りなど、常に中心で全力で楽しむ君の姿は、学校全体に柔らかく心地よい雰囲気を作り出してくれました。最上級生として皆を支えてくれたことに、心から感謝しています。四月からは生まれ育った宇久島を離れ、新たな環境での生活が始まります。巣立ちの時を迎えた君に、「若竹の如くあれ」という言葉を贈ります。

春の若竹には、一日で一メートルも伸びる驚異的な「成長力」、強い風雪を受け流し決して折れない「しなやかさ」、そして土の下で地下茎を張り巡らせて互いに支え合う「繋がり」という特徴があります。

これから先、大きな変化の中でプレッシャーを感じた時は、この若竹を思い出してください。困難をしなやかに受け流し、一人で抱え込まず、ふるさとの人々や新しい仲間と繋がりながら成長していくことを願っています。卒業式のような「節目」を大切に、周りの方々への感謝を胸に、若竹のように力強く未来へ羽ばたいてください。

在校生からの熱いメッセージ「送辞」

さあ、いよいよここからが卒業式のメインイベントです！
まずは、代表の生徒が、在校生全員の思いを込めた、たった一人の卒業生に送るメッセージ「送辞」を述べました。



たった一人の三年生として、常に学校の代表であり続けてくれた〇〇〇さん。その誠実な言葉や行動から、私たちは「先輩とはどうあるべきか」を教えられてきました。五月の体育大会ではダンス実行委員として「全員が主役になれるように」と休日まで練習を支えてくれました。修学旅行のファッションショーでの楽しい経験や、駅伝男子キャプテンとしてチームを明るく鼓舞し続けてくれた姿は、今も鮮明に心に残っています。なぎなた踊りの問答や吹奏楽で見せた、自分を律して磨き上げる情熱。そして生徒会長として「あいの学校」を掲げ、月曜の朝から誰よりも早く校門に立って挨拶を交わしていた姿には、責任感の尊さを学びました。

島を離れ、新しいステージへ進む〇〇〇さんと過ごした時間は、私たちの宝物です。立ち止まりそうになった時は、この島の青い海と私たちを思い出してください。周りに合わせすぎず、〇〇〇さんらしい優しさとその笑顔を大切に歩いていってください。別れは寂しいですが、教えていただいたことを胸に、これからは私たちが宇久中学校を盛り上げていきます。新しい挑戦を、島からずっと応援しています。行ってらっしゃい！

心のアンサーメッセージ「答辞」

在校生からもらった熱いメッセージに答える「答辞」。淡々と述べる〇〇〇君とそれを聞きながら涙する在校生と教職員。

私も、彼の言葉を聞きながらこの1年間の思い出が胸によみがえり、目から一筋の涙が。泣いているのがばれないようにハンカチは使いません。答辞の内容です。



本日、卒業証書を手にし、宇久中学校での三年間を振り返ると、様々な出来事が鮮やかに思い出されます。

入学当時は頼りなかった私ですが、生徒会長として「あいの学校」を掲げ、明るい学校作りに奔走した日々や、唯一の最上級生として後輩たちと手を取り合った経験は、かけがえのない財産です。特になぎなた踊りや吹奏楽、行事の成功を支えてくれた十二人の後輩たち。私の背中を信じてついてきてくれた皆の笑顔が、何よりの原動力でした。

これまで十五年間、反抗期もありましたが、常に寄り添い支えてくれた家族。孫のように温かく見守り、安全な登校を支えてくださった地域の皆様。そして、マンツーマンでの熱心な指導で夢への道を拓いてくださった先生方。皆様のおかげで、孤独を感じることなく今日という日を迎えることができました。心より感謝申し上げます。

春からは島外へ進学し、将来は半導体製造の世界で貢献したいと考えています。島を離れる不安もありますが、宇久中で学んだ「仲間と力を合わせる大切さ」を糧に、未知の分野にも積極的に挑戦していきます。自分らしく、夢に向かって一歩ずつ歩いていくことを誓い、答辞といたします。三年間、本当にありがとうございました。

おかげさまで最高の卒業式で送り出せました！

保護者様、地域の皆様、今日まで〇〇〇君を我が子や孫のように温かく育てくださり、心より感謝申し上げます。皆様の深い愛情と見守りがあったからこそ、彼は立派に成長し、夢に向かって島を旅立つことができます。本当にありがとうございました。

卒業式やその準備の様子は学校のホームページでも紹介していますので、ぜひご覧ください。